

秋晴れの下、かなやま湖畔で記念植樹



10月1日、「フォレストタウン記念植樹祭」がかなやま湖畔で行われました。この事業は、毎年、結婚やお子さんが誕生されたご家族に参加を呼び掛けて行なっているもので、今年は16世帯40名の皆さんが、スコップを手に、エゾヤマザクラの苗木を植樹しました。参加した皆さんには、木製の額に入った記念証が贈呈され、最後に全員で記念撮影を行い、今後の苗木の成長を楽しみしながら笑顔で会場をあとにしました。

また、この日は引き続き、アオダモの森で、「緑とエコ」サポーターネットワーク水源の森創造交流会が行われ、滝川市のボランティアグループ「緑とエコ」サポーターネットワークの皆さんが参加して、アオダモやシラカバなど4種類の樹木が植樹されました。

この事業は、空知川の最上流部に位置する本町と空知川を水道水源として利用している下流域の滝川市が共通の認識を持ち、一体となつて水源の確保を維持することを目的として開催されています。



かなやま湖のイメージソングが完成

曲名は「ナチュラル」

「かなやま湖のイメージソングを創ってまちおこしをしよう」と言う事から、町商工会青年部（小川泰弘部長）が企画して、制作に取り組んでいたイメージソングが完成し、9月30日に完成発表会が行われました。

このイメージソングは、同青年部が主催して、7月29日に開催された「ライブダムインかなやま湖」のライブコンテストで優勝した札幌市のストリートミュージシャン皆川大輔さんとともに、同青年部がイメージソングの制作に取り組み、このほど「ナチュラル」という曲が完成しました。

情報プラザで行われた完成発表会では、会場に詰めかけた約150名の町民の前に「ナチュラル」が披露され、かなやま湖の自然のよさに、静かで落ち着いたテンポの曲を、繊細かつパワフルな歌声で熱唱し、集まった皆さんは酔いしれま

した。このほかオリジナル曲6曲を披露した後、アンコールに込めて2曲を熱唱しました。

もともと自然が大好きで、かなやま湖の大自然にとても癒されたという皆川さんは、「自分が見たままのかなやま湖を表現できた。南富良野の人達は、とても温かく、皆さんとかわりが持てて、感謝しています。」と話していました。

今後は、商工会青年部と皆川さんが協力して、町内外のイベントなどでこの曲とともにかなやま湖のPRを行うことになっています。



「ナチュラル」

ゆるやかな流れ そよ風が吹くよ
木々のおしゃべりも 僕には心地いい
いつまでもここでイネムリしたい
太陽に心委ね

あの頃の陽射し 時を忘れ
いつまでも 浴びていたい
水辺に佇み サカナにこぼれ
自然に囲まれ大切な人と
笑い合うだけでハッピーだ
それぞれ大事な『思い出たち』
忘れずに持ち帰ろう

風 緑揺らし
季節の香り舞いおちる
雨降れば空はナミダ
晴れたら空はオレンジさ
湖に咲いた大きな夕陽

あの頃の陽射し 時を忘れ
いつまでも 浴びていたい

瞳に映る素晴らしきこの自然たちを
いつまでも
いつまでも

皆川大輔 with 南富良野
町商工会青年部